



広 報

いいたて

<http://www.vill.iitate.fukushima.jp/>

平成15年

12月 DEC

No.482



▲子供たちからプレゼントされた首飾りをつけ、演技を楽しむお年寄りたち

色とりどりのお花が咲いたよ くるくる ひらひら 踊りの花

11月27日、草野幼稚園さくら組（5歳児）の子供たち31人が
いいたてホームを慰問に訪れ、おゆうぎを披露しました。

お年寄りたちは、目の前で繰り広げられるかわいらしい歌や踊り
に目を細めて見入っていました。

子どもたち
活力あふれる
りたコトロー・ライフ
うさぎ

飯館村・鹿島町・原町市の任意合併協議会

リレーシンポジウムで354人



▲リレーシンポジウムのようす

飯館村・鹿島町・原町市の合併について協議している任意合併協議会主催の「市町村合併リレーシンポジウム」は11月21日、村公民館で開催され、350人を越す参加者らが集まって各首長や住民代表の合併に対する意見に耳を傾けました。

このシンポジウムは、同協議会が3市町村でそれぞれ開催したもので、11月3日午前中には1回目、原町市で、午後からは2回目、鹿島町で行われており、3回目となる今回、村での開催が最後となりました。

シンポジウムは基調講演とパネルディスカッションの2部構成で行われ、基調講演では、経済学博士の小西砂千夫（かんざき）関西学院

いよいよ大詰め

住民投票に向け 地区懇談会 始まる



▲様々な意見が出た懇談会

12月21日に行われる、原町市・鹿島町との合併の賛否を問う住民投票に向けた地区懇談会が始まっています。

懇談会は12月14日まで投票区または希望のあった各行政区毎に村内14箇所で行われる予定です。初日の11月25日、第1

大学大学院教授が「市町村合併についての国の政策のうごき」と題して講話を行いました。

小西教授は、「今まで様々な合併に関する話を聞いたと思うが、今回はもう一度テストの答案を見なおす気持ちで聞いてほしい」と前置きした後、住民中心の住民自治と役場中心の団体自治の話しながら「お金の損得を超えたところに合併がある。市町村同士お互いの信用、相互理解ができるかが大事」とまとめました。



▲基調講演を行った小西先生

第2部のパネルディスカッションでは、小西教授がコーディネーターを務め、菅野村長、渡辺一

成原町市長、中野一徳鹿島町長ら3人の首長と、住民代表の渡辺とみ子さん（飯樋前田）、宮本晴一さん（原町市在住）、

沢田一夫さん（鹿島町在住）、の合わせて6人が壇上からそれぞれ合併に関する意見を述べました。

中野町長は「それぞれがもつ地域の個性・特色を生かし、共存共栄のためにどうしたらいいのか一緒に考えていきたい」と話し、渡辺市長は「原町、鹿島とも飯館を水源地としている運命共同体。お互い支え合っていたい」と話していました。

また、菅野村長は「合併問題が出た当初から、この問題と正面から向き合ってきた。合併する、しないどちらに決まってもこの土地に長く住んでいくことに変わりはない。全国に誇れる飯館村の自主自立をさらにのびしていくことが必要」と話し、さらに「合併する、しな

いどちらにしても決定した方向にみんな協力することが大切」と話していました。

また、村から住民代表として参加した渡辺とみ子さんは「合併は結婚と同じだが、離婚はできない。結婚を自分で考えるように合併も自分のこととして考えなくてはいい」と一人ひとりの意識改革について喚起していました。

※12月8日以後のもの

「合併することの賛否を問う地区懇談会」

懇談会は自分の投票区と違う場所への参加もできます。ぜひご参加ください。

とき	対象地区	場所
12月8日(月)	第7投票区(比曾)	比曾集会所
12月9日(火)	第8投票区(長泥)	長泥コミュニティーセンター
12月10日(水)	第9投票区(蕨平)	蕨平公民館
12月11日(木)	第10投票区(八木沢芦原)	八木沢芦原集会所
12月12日(金)	第11投票区(前田)	前田公民館
12月13日(土)	関根・松塚	関根松塚集会所
12月14日(日)	深谷	深谷集会所

開始時刻：午後6時30分

合併問題

原町市・鹿島町との合併の賛否を問う住民投票

12/21(日)

投票区の住民を対象に公民館で行われた懇談会には、住民約80人が参加。合併へ向けたまちづくりの基本方向や合併せず独立できるかなど、合併する場合、しない場合両方の説明を聞きました。また、懇談会の最後には菅野村長から「今回の説明を聞いて、より判断に悩む方も多いと思うが、合併問題を家族や近所で話題にしてください。12月21日の住民投票当日には、有権者全員が投票されることを願っている」と投票への呼びかけを行いました。